ر

街を急いで 若い足取り あらし止み 人の夜に泣く 戦争は遠い日に 通り過ぎる や ゆ う つ は き 優しいひ

2

夏が来て冬が過ぎ 小塚に眠る あなたは遠い 私のこの胸に 祖国の星 ロシアの果て 帰っておいで 誰を待つ

3

門にたたずむ 夕べの風に いつまでも見つめてる遠い道 帰らぬ人を待ち今日も暮れる 木の葉が散る 私に散る

帰らぬ人を待ち 帰らぬ人を待ち 窓辺に寄る ひとりで泣く

帰らぬ人を

若 足 取

やうつむ き

街を 急

あ

5

3

戦 通 争 り過ぎる う は 遠 日に

 \mathcal{O} 夜 に泣く

憂

2

あなた は遠

シ ア の果て

夏が 塚 来 に 眠る て冬が過ぎ 祖 围 (T) 星

誰を待つ

帰 . う \mathcal{O} ておい (" に

3

夕 にた 帰 つまでも見 らぬ **(**) たでずむ 風 に 人を待ち め の葉が散 に散る てる遠い

今日も暮れる

窓辺に寄る帰らぬ人を待ち

ひとりで泣く帰らぬ人を待ち